

# 事業完了報告書

事業名	永山地域経済活性化中長期計画策定事業
事業実施期間	平成28年7月4日～平成29年3月21日
事業内容	<p>1 実施事業の概要</p> <p>永山まちづくり推進協議会では、過去に、地元農産物（大豆等）を活用したモデル商品化の事業（「御進物」事業）を実施しているが、平成27年度のまち協議論の中では、地元をよく知る地元民自ら、地域経済活性化に係る議論を行い、中長期的視点にたったビジョン（計画）を作るべきだ、という意見が強まった。このことを踏まえて、平成28年度4月には、あさひかわ商工会と永山まちづくり推進協議会との協議を行い、関係する小人数で、まずは、本件の進め方を中心にシナリオを考えようということになった。</p> <p>7月、永山まちづくり推進協議会、あさひかわ商工会、旭川大学（経済学部、地域研究所）の3者で第1回会議を行った後、9月には旭川信用金庫永山支店にも加わって、産学官金の4者体制で、3月までに計6回の会議を開催し、当初予定の「今後の進め方」を中心に、地域の現状、地域の意向（事業者、地域市民）聞き取りの範囲や手法、アウトプットイメージ等について議論し、第6回会議（3月21日開催）では報告書としてまとめた。</p> <p>報告書については、本取組開始にあたり、各機関の長（市民生活部長のほか、あさひかわ商工会の中村会長、旭川大学の山内学長、旭川信用金庫の原田理事長）に入力してスタートしていることから、報告書を提出し、報告していく。また、報告にあたっては、永山地域で、同時進行的に議論が進んでいる「永山農業祭り再開に係る地域議論の経過報告書」も併せて参考情報提供する（第6会議決定事項）。</p> <p>2 実施団体</p> <p>永山まちづくり推進協議会、あさひかわ商工会（永山）、旭川大学（経済学部、地域研究所）、旭川信用金庫永山支店からなる9名体制の検討メンバー（永山地域経済活性化中長期計画策定検討会）によった。</p> <p>※補助金を活用しない取組のため、上記9名には支所職員を含めている。</p> <p>※平成29年度は、補助金活用を予定するため、支所職員を除き、「永山地域経済活性化中長期計画策定検討会」という実行委員会名称を使用する予定。</p> <p>3 主な活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議の実施</li></ul> <p>別紙報告書のとおり</p>
実施結果及び効果	<p>地域自らが、我が地域経済の振興・活性化について議論を行うことは、まちづくり推進協議会の目指す「地域力」の活用にまさしく合致おり、重要な結果になったと考える。経済分野の議論は、福祉分野、教育分野、地域文化分野等に比べて、たいへん難しい分野であると感じるが、地域の主体的な思いを基礎にした取組であるので、2年目以降は、初年度の議論結果をもとに深化させていきたいと考えている。</p>